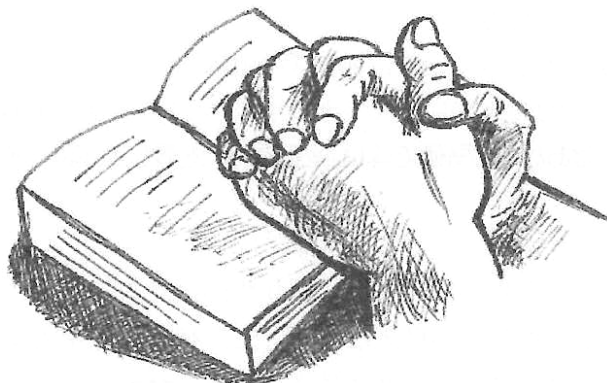


## <ヤベツの祈り>

I 歴代誌 4 : 9 ~ 10



ヤベツは彼の兄弟たちより重んじられた。彼の母は、「私が悲しみのうちにこの子を産んだから」と言って、彼にヤベツという名をつけた。【9 節】

ヤベツはイスラエルの神に呼ばわって言った。「私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように。御手が私とともにあり、わざわざから遠ざけて私が苦しむことのないようにしてくださいますように。」そこで神は彼の願ったことをかなえられた。【10 節】

I 歴代誌は 1 ~ 9 章まで、600 名以上の人の名前が記された膨大な系図  
アダム ~ ノア ~ アブラハム、イサク、ヤコブ、... ダビデ、ソロモンに至る

### 【ヤベツという人】

①この箇所にはしか出てこない。

注目を集めたり、脚光を浴びたりするような重要な人物でもない。

◆誰も注目しない。誰にも知られていない。ささやかな人生を神は見ている。

②「悲しみ」という名を付けられた人生の見通しは、決して明るくない。

母の悲しみの記憶は、自分の名前に張り付いている。「ヤベツ」と名を呼ばれるたびに、心の中に暗い闇が立ち込める。振り払えない暗く重たい感情が込み上げる。

こんな自分の人生。呪って、それで終わり？！

ヤベツは、神に叫んだ。神に求めた。「これでは納得できない！」  
自分の身を絞り出すように、しぶとく、必死に祈った。

◆悲しみは、祈りを生みだし、その祈りは神の祝福を生み出す。

◆ヤベツは、自分を越えた偉大な神を呼び求め、「私を祝福してください。私の人生にあなたの栄光をあらわしてください」と祈った。その祈りは具体的。

①わたしを祝福してください

神が自分に与え下さっている計画があるはずだ！

自分はどんな目的のためにつくられたか。自分の人生の意味を見出だしたい。

わたしの目にはあなたは高価で尊い。私はあなたを愛している。 イザヤ43：4

②地境を広げてください

所有地が広がる。自分の持ち分が広がり豊かになるように。

神が祝福してくれたとしか思えないほどに。神の栄光を人々が見るほどに。

具体的な祝福 仕事／経済／宣教 etc

③御手が私と共にあるように

神の臨在の中で生きるように。神から離れない。

神を知らないところから、神を知って、一緒にあることの祝福を味わったはずだから、自分頼みではなく、神の助け(恵み)の中で生きて行けるように。

水路のそばに植わった木の葉はかれない。その人は何をしても栄える。

④災いから遠ざけて私が苦しむことの無いように

所有地が広がれば、責任も増え敵も多くなる。しかし、神の守りは、人や状況を恐れる必要がない確信を、私たちに与えてくれる。

ヤベツの祈りは、神だけを頼ることに徹した、しぶとい力強い祈り。

ヤベツは、ただ人生が成功すればいいと祈ったのではない。

祝福された自分が、神と共に生きることを通して、神さまの栄光が周りの人々にもあがめられるように、祈り求めた。